

1

漆田保育園の民営化に向けて

～子どものより良い保育をめざして～

For Better Child Care

田原市では、現在、21の保育所の全てが公立ですが、民間保育所の持つ機動性や柔軟性を生かした保育サービスの充実や保護者の選択肢拡大のため、公立保育所を私立保育所とする民営化を進めています。保育所民営化への経緯やそのメリット、民営化する保育所などについてお知らせします。

民営化に関するご意見・ご質問

▼子育て支援課 ☎23局3513



民営化への背景と経緯

◆保育を取り巻く環境の変化

近年、少子化や核家族化が進み、女性が進出する機会が増加するなど、保育を取り巻く環境が大きく変わっています。保育に関するニーズは、長時間保育や一時保育、保育需要の増加、質の高い幼児期の教育と保育など多様化しています。

◆これまでの経緯

就学前の児童保育と教育体制について、専門家や地域・保護者の代表者などで構成する保育所問題検討会において報告書をまとめました。

その報告内容の実現のため、平成22年3月に「田原市保育所運営実施計画」を策定。公立保育所の民営化について、対象園の基準と目標スケジュールなどを定めました。



民営化のメリット

- 1 公立保育所と民間保育所があることで、お互いが刺激し合い、保育サービス、就学前教育が一層充実される。
- 2 民間の持つ機動性、柔軟性を生かした、多様な保育ニーズへの対応が期待される。
- 3 保育所入所の際に、保護者の選択肢が拡大される。
- 4 保育所運営経費の国県負担が増えることで、市負担が軽減され、限られた財源や人材が効率的に活用される。

